

松下幸之助記念志財団 研究助成
研究報告

(MS Word)

【氏名】

田川夢乃

【所属】(助成決定時)

広島大学

【研究題目】

性愛規範と親密性に関する人類学的研究

【研究の目的】(400字程度)

本研究は、フィリピン、マニラの日系カラオケパブ(*Japanese Karaoke TV*: 以下 JKTV)を事例として、性行為をマニュアルに含まないグレーゾーンのセックスワークの現場においてワーカーと顧客の対面相互行為の中に立ち現れる親しみを帯びた関係性の生成過程を明らかにする。これをとおり、従来の性愛規範と結びついた親密性概念が前提とする包摂/排除の論理を脱構築し、そうした社会統治の装置としての親密性概念とは別の水準にある、人びとの実践次元のリアリティに基づく親密性概念の再構築を試みるのが本研究の目的である。

また、本研究は、マニラ首都圏にある JKTV に申請者自ら接客者として参与し、そこで紡がれる生と親密性に対して行為者の論理に基づいて考察を行うことで、既存研究における観念的世界と実践的世界との乖離を埋めることを試みた。

【研究の内容・方法】(800字程度)

JKTV は、フィリピン人女性従業員(*Customer Care Assistant*: 以下 CCA)が日本人男性客を酒類で接待する業態を指す。日本の文脈で言えば接待飲食業にあたるにも関わらず、CCA はフィリピン社会において「売春婦」としてスティグマを与えられてきた。国民の約 8 割がカトリック教徒でキリスト教の道德規範が根強いこの国において、「売春婦」は帰属社会の性愛規範から逸脱した/を脅かす「ふしだらな女性」とみなされてきた。

従来の研究では、売春女性は一人の顧客を「恋人」として特別な存在とみなし、他の顧客との差別化を図ることでキリスト教的規範に自らを当てはめ、「不道德な売春婦」というイメージから自らを切り離そうと試みていることが指摘された。しかしながら、実際の労働の現場では、婚姻関係を前提とするような「特別な関係」に至ることは稀であり、むしろ JKTV という空間内の役割に限定される一時的な男女の関係の方が一般的である。

このことに鑑み、本研究では、以下の二つの問いを設定した。第一に、JKTV 内で醸成される CCA と顧客の親密な関係が規範的な恋愛関係でないのであれば、それはどのような関係であるのか。第二に、もし彼女たち自身がキリスト教的なフィリピン社会の規範意識を内面化しているのであれば、そうした規範意識と労働現場での顧客との親密な関係は矛盾するものではないのか。本研究はこれらの問いを通して、社会統治のイデオロギーに包摂されてきた親密性概念を脱構築し、より多様な関係性を含む開かれた概念として再構築することを試みた。

調査はフィリピン、マニラ首都圏の JKTV における参与観察(2019年7月~2020年3月)を中心に行なった。また、現地滞在期間中はフィリピン大学ディリマン校第三世界研究所に客員研究員として所属し、研究所職員との意見交換や文献資料調査によって知見を深めた。

【結論・考察】(400字程度)

参与観察の結果、CCA が顧客との間に築く親密な関係には、他の接客業においてもみられる常連関係に類するものから性愛規範に則った恋人関係まで、グラデーションがあることがわかった。本研究はその中で

も現地語で「ジョワ (*jowa*)」と呼ばれる顧客との関係を、親密性規範に縛られない関係として注目した。ジョワとは、タガログ語で「恋人」を意味するが、結婚を前提とする永続的な関係というよりも、一時的な恋愛関係としてのニュアンスを持つ。CCA とジョワの関係は、仕事上の関係として割り切られる一方、いつでも親密性規範に則った恋愛関係に転じうるものであり、そのどちらにしろジョワは顧客として彼女たちを支え、その上で彼女たちの仕事や彼女たち自身に配慮を示してくれる相手であった。こうした関係は、単なる「経済的利益のための関係」とも「経済外的な愛情関係」とも言いきれないことから、CCA にとって仕事上の、あるいは生存上の安定に深く関わるものであり、その意味で彼女たちの生活と連続したものであると結論づけた。